

地域再生計画『生涯活躍のまち・おんじゅく』(おんじゅくまるごと生涯活躍・安心のまち)の進捗(平成31年2月現在)

① 生活支援・支え合いと多世代交流の仕組みづくり

地域住民や各種団体、町が協働・連携して、生活支援サービス、介護予防体操や趣味活動などの実施、交流の場(交流サロン)の運営などによる、支え合いと多世代交流の仕組みづくりを行う。

地域住民、三育学院大学、介護サポーターが協働して、交流の場づくりのモデル事業『寄茶場(よっちゃば)』を、実谷区民館において開催した。

- 10月4日口腔体操、ハーブ療法士によるハーブ茶・オリーブ茶の試飲会
- 12月6日インフルエンザ対策講演、オリーブの葉を使用したクッキー試食会
- 1月27日子ども会と地域住民の交流、白玉団子作り
- 3月27日第4回を実施予定(地域の昔あそび)

<効果>高齢者を中心に、参加者全員に笑顔が生まれ、楽しい交流の時間を作ることができた。事業内容を検討する段階から住民、大学、町が連携することで、官民の連携・協働による地域づくりの基礎のきっかけを作ることができた。

<課題>継続的に実施するための仕組みづくり、他地域への広げ方

<今後の予定>「寄茶場」の拡充や新たな交流拠点の活用により、担い手の発掘・育成を図るとともに、今年度実施できなかった生活支援サービス事業について社協、事業者、地域住民などと具体的な取組みについて検討、実施していく。

③ 人材の育成と移住促進

住民が気軽に交流できる交流サロンを運営し、まちづくりを担う人材を育成、誘致し、官民連携のもと、まちづくりに取り組む。また、予備校等と連携し、教育に関する不安の解消を図る。

平成30年度取り組み状況

- 小学生週末英語教室を実施(対象:小学4年生)

<効果>英会話に対する苦手意識(恥ずかしさ)がなくなった。

<課題>5年生からの教科である英語授業へどのように繋げて行くか。

<今後の予定>イングリッシュキャンプや英語村への参加を検討したい。

- 中学生週末御宿学習塾を実施(対象:中学3年生)

<効果>入試対策や家庭学習の手法を習得することで学習意欲が向上した。成績アップも見られた。

<課題>教室開催日の確保が難しい。(部活動)

<今後の予定>数学は積み重ねの教科であるため、もう少し早い時期からの学習が可能か検討したい。

○地域再生計画の目標

町の課題である人口減少、高齢化、そして経済の活性化に対応していくため、地域の自然環境や都心に近い地理的条件、農産物・海産物などを活かしながら、行政と地域住民をはじめ、大学や高校、企業が協働・連携し、御宿町に暮らす者並びに訪れる者が、年齢や性別、障害の有無などにかかわらず、皆が心豊かに暮らすことができる「生涯活躍のまち」を目指します。

○具体的には

住民と行政の協働により、①生活支援・支え合いと多世代交流の仕組みづくりや、②地域資源を生かした産業の振興や交流人口の増加、⑤豊かな自然の中で、住まいや理想の暮らしを実現する移住促進を図るほか、④医療機関や福祉・介護事業者と連携して、御宿町を終の棲家とするための継続的ケアを受けることができる体制の整備などにより、地域住民と移住者が安心して暮らせるまちづくり、自立した持続可能なまちづくりを進めます。

② 地域資源を活かした「にぎわい」の創出

町と商工観光農水産業者等が連携し、オリーブ等を活用した特産品開発や新鮮な地元食材を利用したメニュー開発、体験プログラム等による交流人口の増加や雇用の場の創出を図る。

平成30年度取り組み状況

- 10月18日及び11月27日に、オリーブ栽培に係る講習会を実施。

- 平成31年1月15日にオリーブ視察研修会(神奈川県二宮町)を実施。

<効果>事業初年度であるため、研修会や先進地視察を実施し、オリーブ植栽に係る土づくり管理方法、活用方法などオリーブに関する基礎知識の習得を図ったことで、参加した団体や住民の中にオリーブ栽培への前向きな機運が醸成された。

<課題>担い手を増やすための広報活動や御宿町に適した栽培方法を一層研究する必要がある。

<今後の予定>植栽に係る中で、関係者が生きがい等を感じながら、交流の輪を広げるとともに、事業者との連携が図れるよう交流会、講習会等を開催するほか、官民が連携して新商品、メニューなどオリーブの活用の方法を研究していく。

④ 地域包括ケアシステムの構築

人々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることが出来るよう、医療・介護の支援や助け合いの仕組み等が、地域住民や施設入居者等へ十分に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指していく。

平成30年度取り組み状況

介護や福祉医療に係る事業者アンケートを行い、2月15日に視察、誘致セミナーを実施した。

<効果>アンケートにより事業者が求める行政の支援等の情報を得られた。

<課題>誘致対象となる介護事業の検討と誘致施策の具体化。

<今後の予定>継続的なセミナーの実施と介護人材確保策等の施策を検討する。

⑤ 移住・定住や雇用等に関するニーズ調査と情報発信

移住希望者の雇用や転居等に係るニーズ調査やワークショップを通じて、新たな発見や起業に結び付ける。移住定住ツアーやお試し居住の実施、地域住民と行政が連携して移住・定住や雇用などに関する情報発信サイトを構築し、交流人口を拡大し、移住や人材の育成・発掘に繋げていく。

平成30年度取り組み状況

- 都市住民ウェブアンケート調査を実施、9月29日に都市住民グループディスカッションを開催、10月13日に御宿町移住ツアーを実施した。

- お試し居住用住宅事業では、「お試し居住用住宅」を活用するため、工学院大学と修繕委託契約を結び、改修を実施。

- 情報発信サイトを構築・運営するため、御宿町情報発信ウェブサイト運営協議会を立ち上げ、同協議会と委託契約による事業を実施。

<効果>アンケートにより移住に関するニーズ等を把握し、ニーズに沿った移住希望者等に向けた情報発信手段や宿泊体験施設の整備につなげることができた。

<課題>持続可能なウェブサイト運営や御宿町の魅力的な情報を発信するため、さらに研究を行う。お試し居住用住宅の活用方法。

<今後の予定>お試し居住用住宅やツアーを活用することにより、移住するにあたっての具体的な情報が得られるような仕組み作りを行い、ウェブサイトを活用して、御宿町への交流人口を増加させ、さらには移住者や移住相談者の増加を図る。